

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都 I ホテル新築工事	階数	地上7F
建設地	京都府京都市中京区烏丸二条上る藤絵屋町261-1	構造	RC造
用途地域	商業地域, 防火地域, 準防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2018年12月1日
敷地面積	453.85 m ²	作成者	西川学
建築面積	370.12 m ²	確認日	2018年12月3日
延床面積	2,683.41 m ²	確認者	野原 義久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 72% (133 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 72% (133 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 72% (133 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 2

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境 (スコア: 2.8)

音環境	3.1
温熱環境	2.0
光・視環境	2.9
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 (スコア: 2.6)

機能性	2.6
耐用性	2.8
対応性	2.3

Q3 室外環境(敷地内) (スコア: 2.2)

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性・	1.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー (スコア: 4.2)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (スコア: 3.0)

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境 (スコア: 3.0)

地球温暖化	4.1
地域環境	1.7
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 耐久性の高い材料を採用し、ライフサイクルコストを低減しており、断熱性能が高く省エネルギー性が高い。		
Q1 室内環境 断熱性能が高い材料を使用しており、F☆☆☆☆の内装材を採用している。	Q2 サービス性能 耐用性年数に優れた材料を使用している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱性能が高く省エネルギー性が高い	LR2 資源・マテリアル 硬質ウレタンフォームA種を採用している	LR3 敷地外環境 耐久性の高い材料を採用し、ライフサイクルコストを低減している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される